

## 1. 教育目標

法医解剖で経験する症例から問題点を発見し、自らそれを解決するために必要な方策を身につける。法医学全般にわたる基礎的な知識を獲得するとともに、高度の研究能力を身につける。医学部出身者は、実際の解剖実務に参加して、死体検案書の作成を適切に行う。研究領域は、突然死の病態解析、特に原因不明の突然死の原因となりうる不整脈等の原因遺伝子の変異解析、既往症や生活様式に注目した症例研究等である。

## 2. 到達目標

- (1) 研究遂行に必要な文献を収集することができる。
- (2) 研究に必要な実験を自ら行うことができる。
- (3) 研究内容をまとめて、学会や学術論文として発表できる。
- (4) 適切に死体検案書を作成できる。

## 3. 成績評価の方法と基準

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び修得すべき基礎知識・技能の修得度により行う。

研究成果の発表（50％）、報告会での討議の内容（50％）

## 4. 教科書・参考書

特に定めない。参考資料等を配布する。

## 5. 準備学習

予習としては、あらかじめ指定する文献を読んで、授業・実習に臨むこと。（1時間程度）  
復習としては、授業・実習内容を整理し、疑問点を解決しておくこと。（1時間程度）

## 6. フィードバック方法

当該年度修了時に提出する「研究計画書」、又は「研究進捗・指導状況報告書」によりフィードバックを実施する。

## (第1学年・昼間開講)

## 【法医学】

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実験研究	法医中毒論 (薬物分析法に関する実験)	西口教育講師	火曜/4・5限	通年	4	法医学実験室
講義	内因性急死 (突然死原因遺伝子の解析)	山本准教授 三浦助教	水曜/1限	半年	2	法医学セミナー室
実験研究	死因論 (死体検案・法医解剖実習)	西尾主任教授	木曜/3・4限	通年	4	法医学解剖室
演習	法医学・医事法制セミナー (研究結果報告と関連文献の抄読)	山本准教授	金曜/4限	半年	2	法医学セミナー室

## (第1学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	法医学・医事法制セミナー (研究結果報告と関連文献の抄読)	山本准教授	月曜/7限	半年	2	法医学セミナー室
実験研究	内因性急死 (突然死原因遺伝子の解析)	山本准教授 三浦助教	火曜/6・7限	通年	4	法医学実験室
講義	内因性急死 (突然死原因遺伝子の解析)	山本准教授 三浦助教	水曜/6限	半年	2	法医学実験室
実験研究	法医学的検査法 (各種機器分析を用いた法医学的検査)	西口教育講師	金曜/6・7限	通年	4	法医学実験室

## (第2学年・昼間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実験研究	法医学的検査法 (各種機器分析を用いた法医学的検査)	西口教育講師	月曜/3・4限	通年	4	法医学実験室
実験研究	内因性急死 (若年性突然死原因遺伝子解析)	山本准教授	火曜/1・2限	通年	4	法医学実験室
演習	法医学・医事法制セミナー (研究結果報告と関連文献の抄読)	山本准教授	金曜/4限	通年	4	法医学セミナー室

## (第2学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	法医学・医事法制セミナー (研究結果報告と関連文献の抄読)	山本准教授	月曜/7限	通年	4	法医学セミナー室
実験研究	法医病因論 (組織学的病因検索)	西尾主任教授	水曜/6・7限	半年	2	法医学実験室
実験研究	法医病態論 (実験モデルを用いた法医学的病態解析)	西口教育講師	木曜/6・7限	通年	4	法医学実験室
実験研究	内因性急死 (若年性突然死原因遺伝子解析)	山本准教授 三浦助教	金曜/6・7限	半年	2	法医学実験室